

福祉と当事者のリアル

《履修上の留意事項》本講義は動画による講義を受講し、面接授業にて振り返りを行う。

《担当者名》○大原 裕介(客員) ohara@yu-yu.or.jp 近藤 綾香(非) 酒井 美結(非) 向谷地 生良(客員)

【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	本授業のねらいについて共有する。	大原、近藤、酒井
2	これからの社会と私	外部ゲストとして、日頃から若者に関わっている方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。	大原、向谷地、近藤、酒井 特別講師
3	初回振り返り	第2回講義の振り返り授業を実施し、ディスカッションを通し多様な価値観を養う。	大原、近藤、酒井
4	大人の発達障害	外部ゲストとして、発達障害の当事者をお呼びし、リアルな講話を聴く。	大原、近藤、酒井 特別講師
5	認知症は社会をケアする	外部ゲストとして、認知症当事者をお呼びし、リアルな講話を聴く。	大原、近藤、酒井 特別講師
6	中間振り返り	振り返り授業を実施し、ディスカッションを通し多様な価値観を養う。	大原、近藤、酒井
7	子どもの貧困に向き合う	外部ゲストとして、子どもの貧困について支援する方々・ヤングケアラーなどの当事者をお呼びし、リアルな講話を聴く。	大原、近藤、酒井 特別講師
8	最終振り返り	振り返り授業を実施し、ディスカッションを通し多様な価値観を養う。	大原、近藤、酒井

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

講義後に実施するリアクションペーパー(70%) 授業に参加する態度や姿勢、行動力(30%)

【教科書】

教科書は使用しない

【備考】

1. Google Classroomを用いて講義を視聴。授業後の特定期間に限り、繰り返し視聴できる。
2. 講義視聴後、面接授業を実施し講義に関する疑問・質問に応ずる。

【学修の準備】

予習：各回で掲げているテーマについてイメージを考えておくこと。イメージが思い浮かばない場合、書籍や様々な方法で調べておくこと。(予習2時間)

復習：振り返り授業において、感想や疑問等をディスカッションするため動画を受講後自身での振り返りを実施すること。(復習2時間)

(2026年度・看護福祉学部)

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

大原裕介（社会福祉士） 向谷地生良（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人の理事長としての実務経験や精神科病院、精神障害者の就労支援等の当事者研究での臨床経験を生かした実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している